

ツインシティ倉見地区 まちづくりニュース

このまちづくりニュースは、新幹線駅の誘致とツインシティのまちづくりの
情報をお知らせするものです。

促進協議会が静岡県磐田市へ視察に行ってきました

平成 28 年 11 月 2 日、東海道新幹線(仮称)倉見新駅促進協議会の 12 名の幹事の皆様が JR 東海道本線の(仮)磐田新駅設置が決定した静岡県磐田市を視察しました。

視察研修にあたって(藤沢会長あいさつ)



現在、倉見地区には、新幹線新駅を誘致しようという取り組みが進められていますけれども、JRの意向や地元のまちづくりに対するいろいろな不安、そして、いろいろな課題が山積を致しております。

今回お伺い致しました協議会のメンバーも、これからどのように取り組むべきか、ともに苦労しているところでございます。磐田新駅誘致までの経験や、その取り組みについて、先進的な事例をご教示いただけるということで、期待を持って勉強させていただきに上がりました。

(仮)磐田新駅の位置

(仮)磐田新駅は、袋井駅より西に4.6km、磐田駅から東に3.2kmに位置し、新駅予定地周辺では、南北で土地区画整理事業が施行されており、新市街地の形成が進みつつあります。

新駅予定地の北側には、ヤマハ発動機(株)やNTN(株)磐田製作所などの大規模工場が立地し、ジュピロ磐田のホームグラウンドであるヤマハスタジアムがあります。



磐田市イメージキャラクター
「しっぺい」



研修会の様子



北口イメージ



南口イメージ



【磐田市メモ】

人 口	約 17 万人
面 積	164.08 平方 ^{キロ} メ ^{ートル}

JR東海道本線 (仮)磐田新駅の概要

新駅誘致のはじまりは地元住民の請願からでした。
 昭和62年に、地元の住民約7,500人の署名による請願書を磐田市議会が採択したことから、本格的に取り組みが開始しました。
 それから約30年、多くの課題を地域で乗り越え、新駅の設置に必要不可欠だった周辺地域の整備が進められ、平成26年4月9日に、新駅が設置されることが正式に決定しました。
 今年の6月に起工式が行われ、平成31年度末(平成32年)の開業に向けて整備が進められています。

【駅舎】
 橋上駅 鉄骨造2階建て
 床面積：約730㎡
 ホーム：2面2線
 トイレ(男・女・多目的)

【事業費】
 約49億円(駅舎・自由通路)
 ※造成は除く
【開業予定】
 平成31年度末(平成32年)
 ※新幹線のホームは造られません。

イメージ図



【自由通路】
 (部) 磐田新駅南北連絡線
 歩行者専用道路
 全長：130.6m
 幅員：3.5m～4.5m
 エレベーター3基
 (北口、西口(中間部)、南口 各1基)



(仮)磐田新駅周辺のまちづくり

東部土地区画整理事業	
施行者	磐田市東部土地区画整理組合
施行面積	39.9 ha
施行期間	平成4年～平成19年
事業費	6,852,000千円
進捗率	完成
減歩率	30.86% (公共21.68%、保留地9.18%)
計画人口	2,640人 (施行前600人)

新貝土地区画整理事業	
施行者	磐市新貝土地区画整理組合
施行面積	40.4 ha
施行期間	平成7年～平成33年
事業費	7,241,000千円
進捗率	79.72%
減歩率	35.91% (公共23.11%、保留地12.80%)
計画人口	2,600人 (施行前422人)

鎌田第一土地区画整理事業	
施行者	磐田市鎌田第一土地区画整理組合
施行面積	25.2 ha
施行期間	平成21年～平成36年
事業費	6,854,000千円
進捗率	8.7%
減歩率	35.37% (公共20.07%、保留地15.30%)
計画人口	1,700人 (施行前350人)

※進捗率は、事業費ベースです。

[(仮) 磐田新駅ができるまで]

	昭和62年	昭和63年	平成2年	平成4年	平成6年	平成7年	平成19年	平成21年	平成26年	平成32年
磐田市の動き		住民の署名による請願を磐田市議会が採択		東部土地区画整理組合 設立		新貝土地区画整理組合 設立	東部土地区画整理事業 完成	鎌田第一土地区画整理組合 設立		新駅開業(予定)
JR東海との協議		JR東海(静岡支社)へ、新駅設置要望書を提出	JR東海(名古屋本社)へ、新駅設置要望書を提出		新駅計画推進に関する『基本方針』をJR東海と締結				新駅設置に関する『基本協定』をJR東海、新貝土地区画整理組合、鎌田第一土地区画整理組合、磐田市の4者で締結	

【基本方針】
 新駅周辺の都市機能の充実、市街化促進、土地区画整理事業の進捗と旅客需要により、設置時期をJR東海が決定

視察研修会に参加された方の声

- 計画してから30年かかっており、新駅設置はどこでも時間がかかると感じた。
- 都市計画についても、将来を見通すことが必要。
- まちの面整備における現地説明がほしかった。商業施設等の見学をしたかった。
- 新駅誘致の大変さがわかった。JRは簡単にOKは出さない。



第7回線引きがスタートしました

神奈川県がおこなってきた「第7回線引き見直し（※都市計画区域の整備、開発及び保全の方針、市街化区域と市街化調整区域の区分等の見直し等）」において、ツインシティ倉見地区については前回線引き同様「一般保留」として位置づけられました。

（平成28年11月1日付 神奈川県告示第503号）

※一般保留とは

- 市街化調整区域のうち、計画的なまちづくり検討等で市街化区域への編入を保留する区域等を設定し、市街地整備が確実となった段階で、次の見直しを待たず随時に市街化区域に編入しようとする制度を「保留制度」といいます。
- 保留制度には、計画的な市街地整備の見通しや事業の熟度により、位置と区域が明示される「特定保留」と、エリアをおおむねの地域として表す「一般保留」とがあります。

JR東海に対して要望活動等を行っています

町では、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会の一員として毎年JR東海に要望活動に行っています。今年は、5月に町長が、8月と11月には副町長がそれぞれ訪問し、町の思いをお伝えしてきました。

まちづくりに関しては、県との一定の調整が整い次第、皆さまにお伝えしていきたいと考えています。

【 まちづくりに関するご意見をお寄せ下さい 】

まちづくりに関するご質問・ご意見等がございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。担当の職員がご自宅にお伺いするなどし、説明をさせていただきます。

〒253-0196 神奈川県高座郡寒川町宮山165番地

寒川町 拠点づくり部 倉見拠点づくり課

TEL：0467-74-1111(内線281) FAX：0467-74-2833

ホームページ：<http://www.town.samukawa.kanagawa.jp>

※ホームページ上の「メールフォームによるお問い合わせ」から、メールでのお問い合わせも可能です。